

みえ県議会だより

NO. 199

令和5年
(2023年)
8月1日



名張川のアユ釣り（名張市）

発行／三重県議会 編集／三重県議会広聴広報会議

「みえ県議会だより」に関するご意見・ご感想をお寄せください。

〒514-8570 津市広明町13 ☎059(224)2877

FAX 059(229)1931 ✉gikaik@pref.mie.lg.jp

URL https://www.pref.mie.lg.jp/KENGIKAI/

URL http://www.gijiroku.jp/mie/ (スマホ版)

URL https://www.facebook.com/miepref.gikai (Facebook) ▲議会ホームページ ▲スマホ版議会だより ▲議会Facebookページ



～令和5年度補正予算などについて議論～

令和5年第2回三重県議会定例会 6月定例会議

エネルギー・食料品価格等の物価高騰の影響を受けた生活者や事業者に対する支援、子ども食堂での朝食提供の促進、関西本線の利用促進に向けた需要調査等を行うための補正予算などを審議・可決しました。

本号の主な内容

- 1面 審議結果と主な開催実績、代表質問
- 2～3面 一般質問、用語解説
- 4面 委員会の紹介、三重県議会定例会今後の日程（予定）

審議結果と主な開催実績

審議結果

可決した議案

予算

○令和5年度三重県一般会計補正予算（第2号）

条例

○子ども家庭庁設置法等の施行に伴う厚生労働省関係省令の整備等に関する省令等の施行に伴う関係条例の整理に関する条例案
ほか3件

その他議案

○工事請負契約について
ほか4件

人事案件（同意）

○公安委員会委員の選任につき同意を得るについて
ほか2件

可決した意見書案

○地方財政の充実及び強化を求める意見書
○生涯を通じた国民皆歯科健診の実現を求める意見書案

否決した意見書案

○マイナンバーカードの健康保険証利用に伴い紙の健康保険証を廃止することの再考を求める意見書案

※議案の概要、議員別の賛否等の状況などは、県議会ホームページの「本会議」からご覧いただけます。

主な開催実績

6月

1日 本会議

議案11件上程

6日 本会議

代表質問（2人）

議案に関する質疑（2人）

8日 本会議

一般質問（5人）

食料自給総合対策調査特別委員会
参考人の出席要求について

12日 本会議

一般質問（4人）

14日 本会議

一般質問（4人）

21日、22日、23日、26日
各常任委員会・分科会

議案の審査、所管事項の調査

28日 食料自給総合対策調査特別委員会

参考人からの意見聴取について ほか

29日 予算決算常任委員会

議案の審査、所管事項の調査

30日 本会議

議案10件可決、人事同意議案3件上程・同意、意見書案3件上程・2件可決・1件否決、子どもに関する政策討論会議および再生可能エネルギーに関する検討会の設置 ほか

※この他にも、議会運営委員会、議会改革推進会議総会・役員会、代表者会議、全員協議会、委員長会議、議案聴取会、広聴広報会議など、さまざまな会議を開催しました。

インターネット中継・録画配信のご案内

三重県議会では、本会議、常任・特別委員会、全員協議会、議長定例記者会見などの生中継・録画配信をインターネットにより行っています。

パソコンからだけでなく、スマートフォンやタブレット端末からもご覧いただけます。

県議会ホームページの「議会中継・録画」または「議長定例記者会見」からご覧いただけます。



議会中継・録画



議長定例記者会見

代表質問

県民参加予算と討議デモクラシーについて

稲垣 昭義 議員
（新政みえ）
四日市市選出



問

県民の政治離れが進み、選挙のたびに投票率が下がっている中、県が令和2年度当初予算編成から実施している県民参加予算を進化・拡大していく必要があると考えます。令和4年度当初予算編成以降、県民からの事業提案を募集する仕組みは残されていますが、県民が投票する仕組みはなくなり、県民の政治参画を促すためには、事業提案するだけでなく、政策の意思決定に関わることも重要だと思えますが、知事の考えをお聞かせください。

答

政治への参加意識を持ってもらうために、県民の皆さんに県政に参画いただき、新たな発想や身近な問題意識を提案していただくことは重要だと考えています。過去に県民投票を実施した際に、「多数決で決まってしまうため少数意見を反映できない」との声などもあり、現在は県民投票の仕組みは設けていませんが、今後、参画する気持ちを盛り上げていくためにどういった形が良いのか検討していきま



問

OECD加盟国における若者の投票率の平均は60%とされていますが、日本における20代の投票率は直近の参議院選挙で34%です。若者の政治離れを起こした大きな原因の一つは、主権者教育を積極的に行ってこなかった学校教育にあるのではないのでしょうか。子どもたちが議論を戦わせ、自分たちの社会は自分たちの責任で作っていくんだと思えるような教育を進めてほしいと思います。主権者教育の現状と課題、今後の取り組みについてお聞かせください。

答

選挙権年齢および成年年齢が18歳へ引き下げられたことにより、政治や社会が一層身近なものとなり、自分の力で社会的な問題を解決できるという主権者としての感覚を育むことが一層重要となつてきていることから、各学校では教科学習や特別活動において主権者教育を進めています。今後は、教員の授業力の向上に向けた研修の充実や、適切な教材の提供、優れた実践事例の共有等に取り組み、主権者教育のさらなる充実を図ります。

その他の質問事項

○大学設置について

○三重県ひきこもり地域支援センターについて

ほか



▲代表質問
（稲垣昭義 議員）



▲代表質問
（津田健児 議員）

主権者教育について

津田 健児 議員
（自由民主党）
四日市市選出



一般質問

文中の傍線部分については、3ページに用語解説を掲載しています

防災・減災の機能強化について

平畑 武議員
(新政みえ)
鈴鹿市選出



問 県の災害対策本部は非常に小さく手狭です。自衛隊・警察・消防等の関係機関が一堂に会することができると災害対策本部センターの整備が必要ではないでしょうか。また、市町が指定する指定緊急避難場所へより安全に避難するために避難路の整備が必要だと思えます。

答 迅速かつ確実に災害対応ができる環境の整備に向けて、今年度は災害対策本部スペースの拡張に取り組みます。防災センターの本格的な整備には多額の費用を要するため、中長期的な視点で施設整備を検討します。

また、避難路整備に係る市町負担分の2分の1を支援する補助制度を新設したところであり、今後も地域の避難対策を支援します。



災害対策本部の様子

○横断歩道の塗り直し計画の考え方
○道路路面標示等の整備について



▲一般質問 (平畑 武議員)

男性の育児参画について

石垣 智矢議員
(自由民主党)
いなべ市・員弁郡選出



問 ユニセフ(国連児童基金)の格付けによると、日本の育児休業制度は世界1位と評されています。しかし、男性の育児取得率の実態は約14%と先進国では最低水準であり、制度はあるが取得できる風土がありません。男性の育児参画を進めるためには、社会全体の意識を変えていくことが重要ではないでしょうか。知事の考えを伺います。

答 育児の負担が女性会全体の構造・意識を変えていく必要があります。男性の育児参画を進めるためには、所得の保障と企業への理解が重要であると考えています。国において給付面の強化に向けた議論が進められていますので、県では、企業との意見交換の場を設けるなど、男性の育児参画の促進に向けた働きかけを行ってまいります。



○自転車乗車用ヘルメットの着用率向上に向けて



▲一般質問 (石垣智矢 議員)

線状降水帯発生等集中豪雨時の県の対応について

谷川 孝栄議員
(章舞)
東紀州選出



問 先日、知事に対し「線状降水帯の発生を受けた際の情報発信の強化」、「これまでがけ崩れや路肩崩壊が発生した箇所周辺区域の監視の強化と災害防除の実施」、「総合的な内水氾濫対策の実施」の三点について申し入れをしたところですが、線状降水帯発生等集中豪雨時の県の対応についてお聞かせください。

答 県内で初めて線状降水帯が観測された6月2日の大雨に際しては、気象台からの予報発表後、速やかに市町へ情報提供し、気象台との情報連絡会議を開催するとともに、知事から県民に対する呼びかけを行いました。



線状降水帯発生時の様子

○近畿自動車道紀勢線等の進捗状況について



▲一般質問 (谷川孝栄 議員)

ひきこもりサポーター制度創設に向けて

山内 道明議員
(公明党)
四日市市選出



問 内閣府の調査結果から単純推計すると、県内で約1.6万人の方がひきこもり状態にあると考えられるため、支援の拡大に向けて、より実践的で効果のある取り組みを探っていく必要があると思えます。「三重県ひきこもり支援推進計画」に記述されている「ひきこもりサポーター制度の創設」の検討状況についてお聞かせください。



答 令和4年度は、他を行うとともに、市町や社会福祉協議会等の職員で構成する「ひきこもり支援連携調整会議」を県内3圏域で開催し、サポーター制度について意見交換を行いました。

○おもいやり駐車場について



▲一般質問 (山内道明 議員)

農業の振興について

藤田 宜三議員
(新政みえ)
鈴鹿市選出



問 国は「食料・農業・農村基本法」の改正に向けて、食料安全保障の強化や農林水産業のグリーン化、生産性の高い農業の確立といった方向性で議論を進めています。三重県では、農業従事者の減少・高齢化が急速に進んでいます。農業生産力を高めていくために、県はどのような対策に取り組むのか、お聞かせください。

答 県では、農業の生産力を高めるために、農地の集積、担い手の経営力の向上、スマート技術の活用等重点的に取り組んでいます。今後も引き続き、県民に安全・安心な食料を安定供給できるように、法的改正の方針や国の施策の展開方向を注視しつつ、関係機関としっかり連携して取り組まれます。



ドローンを活用した農業散布の様子

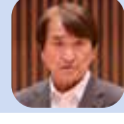
○「三重県人口減少対策方針(最終案)」について



▲一般質問 (藤田宜三 議員)

水産業と観光業の連携について

野村 保夫議員
(自由民主党)
伊勢市・鳥羽市選出



問 伊勢志摩の観光のお参りして、鳥羽・志摩で風光明媚な景色を見ながら新鮮な魚介類を食べることも多いと思います。海水産物の減少が続くと、伊勢志摩観光の基本が根本から崩れてしまうので、水産業の振興のために観光部と積極的連携する必要があるのではないのでしょうか。県の考えをお聞かせください。



海女小屋

答 環境や社会、経済への影響を配慮した持続可能な観光地づくりのためには、観光地づくりに法人を中心に、地域の観光事業者や水産業者などが一体となって連携し、地域特有の観光の魅力を発信することが必要です。県では、水産業の厳しい現状に危機感をもちつつ、地域の仕組みづくりや地域の魅力発信をしっかりと支援します。

○中学校における休日の部活動の地域移行について



▲一般質問 (野村保夫 議員)

子ども医療費助成制度における現物給付窓口無料推進について

下野 幸助議員
(新政みえ)
鈴鹿市選出



問 三重県では、幼保卒園年度(6歳年度)まで、子どもの医療費の窓口無料化が行われていますが、小学生になると、居住する市町によって助成制度にバラツキが生じています。子ども医療費の助成制度は、人口減少対策に大きく寄与します。県内の全29市町で、中学生まで統一して窓口無料化が行われるよう、県の補助を拡大する必要がありと考えますが、知事の所見をお聞かせください。

答 子ども医療費の助成の実施が、住んでいる都道府県や市町村の財政状況等によって変わるのをおかしいと考えますので、全国一律の18歳までの無償化制度の創設を国に要望する必要があります。実現のためには大きな財政負担が生じますので、国の議論を注視しながら、検討を続けてまいります。



○人口減少の認識と「三重県人口減少対策方針(最終案)」について



▲一般質問 (下野幸助 議員)

文中の傍線部分については、3ページに用語解説を掲載しています

三重県地方卸売市場の将来的な在り方について

野口 正 議員
(自由民主党)
松阪市選出



問

ネット販売の拡大や直接取引の増加など、生鮮食品品の流通環境が大きく変化するなか、地方卸売市場における取扱金額は減少が続いています。三重県地方卸売市場が生産と消費を結ぶ拠点としての役割を果たすためには、変化する社会経済情勢に適切に対応するとともに、老朽化した施設の修繕が必要だと思えます。県の考えをお聞かせください。



三重県地方卸売市場

答

県では、三重県地方卸売市場の老朽化した施設の改修や設備の更新、県内産地からの集荷量の拡大、市場関係事業者の働き手の確保に向けた支援を行うなど、今後も三重県地方卸売市場が県民へ安全・安心な生鮮食品品を安定的に供給する役割を果たしているよう、市場関係事業者と連携し、市場機能の維持・向上に取り組みます。

その他の質問事項

○県内にある歴史的価値のある建物について

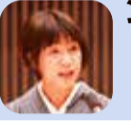
○開発許可の審査について
て ほか



▲一般質問 (野口 正 議員)

コロナ禍を経て次代につながる「ごみゼロ」の取り組みについて

中瀬古初美 議員
(新政みえ)
松阪市選出



問

コロナ禍において、さまざまな物が使い捨てになり、家庭ごみが増加しています。かつて三重県は、ごみゼロ運動等に率先して取り組み、環境先進県と呼ばれていました。いま一度、その精神を取り戻し、家庭ごみの削減意識等を高めていくことが重要ではないでしょうか。ごみの削減対策や県民意識の向上について、県の考えをお聞かせください。

答

コロナ禍のライフスタイルの変化による廃棄物の排出状況を踏まえ、家庭での取り組みの重要性を再認識しました。今後も、市町をはじめさまざまな主体と連携し、スマートフォンアプリ等のICTの積極的な活用や、イベント等を通じて普及啓発を進めるとともに、食品ロス削減など、社会情勢に即した取り組みをより一層進めます。



ゼロギ (三重県ごみゼロキャラクター)

その他の質問事項

○県立文化施設を生かした三重県の活性化に向けて
○ひきこもり支援に係る包括的な支援体制の充実
を！ ほか



▲一般質問 (中瀬古初美 議員)

「ONSEN」を共通語として世界に発信することが、観光成長戦略となる

青木 謙順 議員
(自由民主党)
津市選出



問

温泉は、古来より人々の心身を癒してきた、日本人にとって不可欠なものであり、観光振興の面で重要な役割を果たすと考えます。現在、温泉の文化的価値を見つめ直し、次世代に継承するために、「温泉文化」の登録



「温泉文化」のユネスコ無形文化遺産登録を目指す動きがあります。「温泉文化」の登録について、知事の思いをお聞かせください。

答

県内に多数ある温泉は、重要な観光資源です。三重県は「温泉文化」ユネスコ無形文化遺産登録を応援する知事の「会」に参画しており、4月の総会では、関西・大阪万博での温泉文化の発信を提案しました。ユネスコ無形文化遺産登録により、県内温泉地のさまざまな取り組みにさらに弾みがつくことを期待します。

その他の質問事項

○農業振興のための具体的な支援とは？
○「レクリエーション活動」の推進こそ、明るく豊かな社会づくりとなる



▲一般質問 (青木謙順 議員)

三重県指定文化財等の活用について

森野 真治 議員
(新政みえ)
伊賀市選出



問

県には、多くの有形・無形文化財や史跡、天然記念物などがあります。これらを一度しっかりと棚卸しして現状を把握するとともに、県民や観光客に楽しんでもらえるように磨きあげることこそが、県が行うべき地域振興、観光振興ではないでしょうか。県指定文化財等を観光資源として活用することについて、県の考えをお聞かせください。

答

文化財は、保存するだけでなく、活用され、後世へ継承されること大切で、まちづくりと観光誘客のために文化財を効果的に活用するために、素材を集め、情報を整理することが重要であると考えます。今後、文化財を守り伝えてきた所有者や地域の思い、関係する市町の意向や方針を改めて調査し、文化財のさらなる活用につなげます。



その他の質問事項

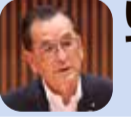
○救急搬送体制の確保について
○防災士の養成について
て ほか



▲一般質問 (森野真治 議員)

G7三重・伊勢志摩交通大臣会合について

山本 教和 議員
(自由民主党)
志摩市選出



問

G7三重・伊勢志摩交通大臣会合を控えた伊勢志摩は、三重県の歴史・伝統・文化の集積地として、7年前の伊勢志摩サミット以来、再び国内外から注目を集めています。この交通大臣会合を通して、新たな三重のステージが生まれることを期待しています。G7交通大臣会合にける知事の思いをお聞かせください。



伊勢志摩サミットが高い評価を得た結果、G7交通大臣会合を誘致できました。この会合で三重県の食や観光などの魅力をしっかりと発信したいと考えています。また、会合に直接携わるかどうかによらず、参加国の文化に触れられる取り組みを実施したいと考えています。交通大臣会合が成功するよう、全力をあげて取り組みます。

答

伊勢志摩サミットが高い評価を得た結果、G7交通大臣会合を誘致できました。この会合で三重県の食や観光などの魅力をしっかりと発信したいと考えています。また、会合に直接携わるかどうかによらず、参加国の文化に触れられる取り組みを実施したいと考えています。交通大臣会合が成功するよう、全力をあげて取り組みます。

その他の質問事項

○知事のスペイン訪問について
○観光振興について
て ほか



▲一般質問 (山本教和 議員)

用語解説

1 OECD

Organisation for Economic Co-operation and Development (経済協力開発機構) の略称で、ヨーロッパ諸国を中心に、日本を含む38カ国が加盟する国際機関です。さまざまな分野における政策調整や協力、意見交換などを行っています。

4 観光地域づくり法人 (DMO)

地域の「稼ぐ力」を引き出すとともに地域への誇りと愛着を醸成する地域経営の視点に立った観光地域づくりの司令塔として、多様な関係者と協同しながら、明確なコンセプトに基づいた観光地域づくりを実現するための戦略を策定するとともに、戦略を着実に実施するための調整機能を備えた法人で、国で登録しています。

2 線状降水帯

次々と発生する発達した雨雲が列をなして、数時間にわたってほぼ同じ場所を通過または停滞することで作り出される、線状に伸びる長さ50〜300km程度、幅20〜50km程度の強い降水をともしょう雨域のことです。

5 防災士

防災に対する十分な意識と一定の知識・技能を修得したことを認証する民間資格です。

3 インクルーシブ遊具

体に障がいがある子どもも、ない子どもも一緒に遊べる遊具のことです。

「自助」「共助」「協働」を原則として、社会のさまざまな場で防災力を高める活動が期待されます。

三重県議会の本会議等で用いられる議会運営用語の解説については、県議会ホームページの「用語解説」からご覧いただけます。



用語解説

委員会の紹介

行政部門別常任委員会、特別委員会の活動を紹介します。

総務地域連携交通常任委員会

行財政の運営、デジタル社会の形成、地域振興の推進、交通政策、スポーツの振興、県南部地域の活性化、会計管理、監査その他行政運営の適正確保などについて、審査・調査します。

【重点調査項目】

- 行財政運営 行財政改革取組の進捗状況等について調査します。
- DXの推進 県庁等のデジタル化に向けた取り組みについて調査します。
- 地域づくりと連携した地域公共交通政策 持続可能な地域づくりの重要なインフラである地域公共交通の充実確保に向けた取り組みについて調査します。
- スポーツの推進と競技力の向上 総合型地域スポーツクラブ等と学校部活動との連携を含めたスポーツの推進等の取り組みについて調査します。
- 熊野古道世界遺産登録20周年も見据えた南部地域の振興 特色ある資源を生かした観光振興等、南部地域の振興に向けた取り組みについて調査します。



ワンボックス車両を巡回バスに! 地域公共交通の充実確保

環境生活農林水産常任委員会

生活文化行政の推進、環境保全の推進、廃棄物対策、農林水産業の振興などについて、審査・調査します。

【重点調査項目】

- 脱炭素社会の実現に向けた取組への対応 「三重県地球温暖化対策総合計画」に基づいた脱炭素社会の実現に向けた取り組みの進捗状況等について調査します。
- 文化振興 今後の文化振興施策について調査します。
- 農林水産業の担い手の確保・育成 農林水産業を取り巻く環境は厳しさを増していることから、担い手の確保・育成について調査します。
- 農林水産物の輸出促進 農林漁業者の収入確保による経営安定化に向けて、海外における販路の構築および拡大について調査します。
- 藻場の再生等豊かな海づくりに向けて 黒潮大蛇行による海水温の上昇などの影響により減少している藻場の現状と課題等を調査します。



豊かな海へ 藻場造成

防災県土整備企業常任委員会

危機管理・防災対策の推進、公共土木施設の整備・維持管理、都市計画・住宅・その他土木行政の推進、公営企業（病院事業を除く）の運営などについて、審査・調査します。

【重点調査項目】

- 防災・減災対策 地域防災力の向上や消防の広域化、消防団の充実・強化に関する取り組み、また流域治水の推進や河川等の堆積土砂撤去をはじめ、災害の被害軽減に向けた取り組みについて調査します。
- 道路整備の着実な推進 交通安全対策、狭小幅員箇所解消、グリーンインフラの整備、道路インフラの老朽化対策、道路ネットワークの整備について調査します。
- 建設産業の活性化 第三次三重県建設産業活性化プランの効果の検証、建設業の担い手確保に関する取り組みについて調査します。
- 水道用水・工業用水の安定的な供給 水道施設および工業用水道施設の耐震化・老朽化対策の推進について調査します。



一般国道 260号 東宮橋の架け替え

食料自給総合対策調査特別委員会

食料自給率の向上に向けた総合的な対策について調査を行います。

【重点調査項目】

- 食料の安定供給と食料自給力の向上 飼料・肥料の生産拡大、食料自給力（農業資源、水産資源、労働力等）の底上げ、気候変動に対応した技術革新の取り組みなどについて調査します。
- 地産地消の取組 地元農産物の学校給食への普及拡大や販路の拡大などについて調査します。
- 農林水産業の後継者・担い手の確保 新規就農者の参入促進、小規模・家族農業に対する支援、外国人労働者の受入れ、スマート農業の普及等に関する取り組みや県内の農業教育の在り方などについて調査します。
- 農場製品の充実 観光政策における「食」の観点や県内産品のブランド化、食関連産品の振興などについて調査します。
- 食に関する教育の推進 小中学校の給食を通じて子どもへの教育やフードロス削減への取り組みなどについて調査します。



食料自給率アップに向けて議論

政策企画雇用経済観光常任委員会

県政の総合企画調整、国際交流、雇用対策、エネルギー政策、産業振興（農林水産業を除く）、観光の振興などについて、審査・調査します。

【重点調査項目】

- 人口減少対策について 県内における人口減少対策について調査します。
- エネルギー政策について エネルギー価格高騰の影響や県内の脱炭素に向けた取り組みについて調査します。
- 観光産業について 拠点滞在型観光やインバウンド誘致に向けた取り組みについて調査します。
- 産業振興について ものづくり産業の振興について
- 中小企業・小規模企業の復興と振興について
- 産業イノベーションについて



「イマしかない」「ココしかない」みえのイマココ旅!

医療保健子ども福祉病院常任委員会

医療・介護行政の推進、保健衛生行政の推進、子ども・青少年の育成、社会福祉・社会保障の推進、病院事業の運営などについて、審査・調査します。

【重点調査項目】

- 全ての子どもが豊かに育つことのできる環境づくり 全ての子どもが豊かに育つことができるよう、子どもの育ちを支える取り組み等について調査します。
- 新型コロナウイルス感染症の5類感染症への位置づけ変更後の対応状況 新型コロナウイルス感染症の5類感染症への位置づけ変更後の医療提供体制の状況等について調査します。
- 医療と介護の体制整備 地域医療提供体制や地域包括ケアの体制整備の促進に向けた取り組み等について調査します。
- 医療・介護・福祉分野における人材確保 医療従事者、福祉・介護人材の確保や処遇改善に向けた取り組み等について調査します。



建て替えます! 県立国児学園 (寮)

教育警察常任委員会

学校教育の充実、社会教育・文化財保護行政の推進、警察の組織・運営などについて、審査・調査します。

【重点調査項目】

- 新型コロナウイルス感染症がもたらした児童生徒への影響について 感染対策により、児童生徒の学校や家庭での過ごし方に変化が生じています。この変化がもたらした児童生徒への影響について調査します。
- 教員の働き方改革について 教員の長時間労働が課題となっている中、部活動の地域移行等、学校における働き方改革の取り組みについて調査します。
- 子どもを取り巻くさまざまな問題から子どもを守る取り組みについて いじめや犯罪など、子どもを取り巻くさまざまな問題から子どもを守る取り組みについて調査します。
- 総合的な犯罪対策と交通安全対策 特殊詐欺などさまざまな犯罪への対策や交通安全対策について調査します。



三重県警察 通信指令システムを高度化

三重県議会定例会 今後の日程(予定)

9月	9月4日	代表者会議
9月	9月11日	議会運営委員会
9月	9月18日	議会(議案上程)
9月	9月25日	議会(議案質疑)
9月	9月28日	議会(一般質問)
10月	10月5日	議会(一般質問)
10月	10月12日	議会(一般質問)
10月	10月19日	議会(一般質問)
10月	10月26日	議会(一般質問)
10月	10月31日	議会(一般質問)
11月	11月7日	議会(一般質問)
11月	11月14日	議会(一般質問)
11月	11月21日	議会(一般質問)
11月	11月28日	議会(一般質問)
12月	12月5日	議会(一般質問)
12月	12月12日	議会(一般質問)
12月	12月19日	議会(一般質問)
12月	12月26日	議会(一般質問)

※この日程は、令和5年7月5日現在の予定です。最新の情報は、県議会ホームページの「議会の日程」でご覧いただけます。